

WOWOW


番組リリース

2019.02.13発行

No.2018-4964

ドラマ

連続ドラマW 坂の途中の家

4月27日(土)スタート(全6話)[第1話無料放送] 

毎週土曜 夜10:00

字

柴咲コウが連続ドラマWに初主演し、角田光代の傑作小説を連続ドラマ化。乳児をあやめた母親の裁判を通して“家族愛”とは何かを問う、究極のヒューマンサスペンス。



乳児虐待死事件の補充裁判員に選ばれた主婦である主人公は、自らも幼い子どもを持つ母親として、次第に被告と自分自身を重ね合わせていく。やがて裁判を通し、“家庭”という閉ざされた世界に隠された衝撃の事実が浮かび上がり…。

柴咲コウ主演で、直木賞作家・角田光代のベストセラー小説をドラマ化する本作。柴咲の連続ドラマ主演は、大河ドラマ「おんな城主 直虎」以来2年ぶり、連続ドラマWは初出演となる。柴咲が演じる3歳の娘を持つ主婦・里沙子は、世間から注目される乳児虐待死事件の補充裁判員を務めながら、育児ストレス、夫との関係、義父母からの重圧、実母との確執など、自らに降り掛かる苦悩と向き合うという難役だ。脚本は映画「人魚の眠る家」など、人間の深層心理を鋭くかつリアルに描くことで定評のある篠崎絵里子が担当。角田光代作品では、恋愛と金銭が交錯する心理サスペンスを描いたドラマ「紙の月」を手掛けている。監督は、2017年に初の映画『おじいちゃん、死んじゃったって。』で数々の賞を受賞し、注目を集めている新進気鋭の映像ディレクター森ガキ侑大が担当し、連続ドラマ作品に初挑戦する。

<ストーリー>

山咲里沙(柴咲コウ)は、3歳の娘・文香と夫・陽一郎(田辺誠一)と3人で平穏な日々を送っていた。そんなとき、裁判所から手紙が届く。そこには、「刑事裁判の裁判員候補者に選ばれたので裁判所に来るように」と書かれていた。対象となる事件は、里沙子と同じ年頃の専業主婦・安藤水穂(水野美紀)が、生後8カ月の娘を水の入った浴槽に落とす虐待死させたという衝撃的なものだった。里沙子は裁判員の誰かが急病などで欠席せざるを得ないとき、代わりに裁判員を務める「補充裁判員」に選ばれる。

同じ子どもを持つ母として、わが子をあやめた水穂に嫌悪感を抱く里沙子だが、徐々に被告の境遇に自らを重ねていくことになる。家庭という密室で夫婦、そして親子の間で交わされた言葉は、時に刃物のように突き刺さることがある。里沙子はやがて自身の心に眠っていた混沌とした感情に困惑していく。

原作:角田光代「坂の途中の家」(朝日文庫刊)

脚本:篠崎絵里子(『人魚の眠る家』)

監督:森ガキ侑大(『おじいちゃん、死んじゃったって。』)

音楽:山口由馬

出演:柴咲コウ 田辺誠一 伊藤歩 眞島秀和 桜井ユキ 松澤匠 松本笑花 西田尚美 / 倍賞美津子

高畑淳子 / 佐藤めぐみ 滝沢沙織 利重剛 酒井美紀 光石研 風吹ジュン 水野美紀

<関連番組>

「連続ドラマW 坂の途中の家」ミニガイド 4月1日(月)夜10:55ほか ●新規・追加登録の方はこちら→<https://prgnews.wowow.co.jp/>

●番組写真・資料のお問い合わせ先:Tel. 03-4330-8155 Fax. 03-4330-8156(情報センター)

*都合により、番組名、放送日時、内容を変更する場合があります。